

令和4年度 前橋市児童文化センター第2回運営委員会 議事録

○開催日時 令和5年2月8日(水) 15時00分～16時45分

○出席者(25名)

・運営委員

西菌委員 荒井委員 手島委員 渡邊委員 古田委員 三好委員 天宮委員  
田口委員 小暮委員 岡田委員 春山委員

・教育委員会及び関係課

吉川教育長 都所指導担当次長 関口生涯学習課長 木村教育施設課長  
狩野公園管理事務所長(代理として渡邊係長) 内山青少年課長(司会)

・職員

金井館長 藤本課長補佐 吉澤課長補佐 飯塚指導主事 成田指導主事  
佐藤副主幹 井上主任 野中指導主事(記録)

○欠席者(4名)

・運営委員

藤森委員 大澤委員 小林委員

・教育委員会及び関係課

相原学校教育課長

○議事

(1) 報告及び協議

①令和4年度事業中間報告について

②令和5年度事業運営(案)について

(2) プラネタリウム視聴(午後3時30分～)

(3) その他(意見交換)

○内容

1. 開会

2. あいさつ(吉川教育長)

本日は、皆様ご多忙のところ、また寒いなかお集まりくださりありがとうございます。本委員会の第1回開催にあたっては、皆様には大変活発な意見交換を行っていただき、とりわけ体験や人との繋がりなどが、子供たちへ与える影響についての思いの深さや強さを感じた。新型コロナウイルス感染拡大の波は続き、人との繋がりを持つことがまだ難しい状況だが、児童文化センターでは、一定の制限のなかでも、皆様の期待や要望に応えられるよう、徐々に活動を広げて事業を進めてきた。今週末には、配付したチラシのとおり、3年ぶりに、児童文化センター合唱団、ジュニアオーケストラの演奏会も開催されることになっており、大変楽しみにしている。

最近では、青少年支援センターとの連携により、教育支援教室への天文教室を実施し、事情により学校で授業を受けられない児童、生徒たちも、学校に通う子供たち同様にこの施設で学び、豊かな体験をすることができた。また、現在は、新入学を迎える園所児たちが安全な道路の歩き方を学び、まだ見ぬ世界に羽ばたく準備を行っており、公園の交通学習ゾーンで新しい経験をしている。さらには、各交通指導の功績に対して、先日、前橋東、前橋の両警察署から感謝状をいただくなど、長年の施設の事業が認知され、また評価されていることも嬉しく思っている。

また、プラネタリウムに関しては、第1回委員会でも話題となったが、今年度は、番組の館内掲示の見直しや、ふるさと納税の協力依頼などの各種PRにも取り組んできた。新年度には、プロジェクター更新を予定した予算要求も行っており、本日の試写で、実際の番組などをご覧いただき、新設備でより良い運営が行われるよう皆様の視点からご意見、ご感想などいただければと思う。

新年度、教育委員会は組織改編が予定されており、児童文化センターは青少年課から教育支援課へ所管が変わるが、引き続きのご支援をお願いしたい。本日は、よろしくお願ひいたします。

### 3. 報告及び協議（進行：西園会長）

#### （1） 報告及び協議

- ① 令和4年度事業中間報告について
- ② 令和5年度事業運営について

・ 質問、意見

(西園会長)	事務局より今年度の事業中間報告と、新年度の事業運営案について一括の説明があったが、これらの件について、何か質問などあるか。
(都所次長)	環境教室のことを質問したい。交通教室の充実という（1）と比較してみると、目標ねらいのところに、「交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる」という子どもの資質能力を高めるところを目標にしているので理解できる。環境教室の充実というところで、児童文化センターが行う環境教室を通して子供たちに資質能力を高めていくという部分が見えてこない。その辺をどのようにお考えいただいているのかを教えていただけたら。
(事務局)	事務局の飯塚と申します。よろしくお願ひします。環境教育は、まず子供たちの環境に対する意識を高めるところが目的になると思う。そこから先はかなり広いところになっていて、各学校の教育課程にいろいろな位置付けがなされている。まずは、子供たちがいかに環境に関心をもってもらうかというところをねらって授業を組み立てている。そこから児童だけではなく家庭に学校に地域に広げていきたいと考えている。4つのプログラムを学校に提供させていただいている。学校に応じて選択していただく。
(都所次長)	そうだとすると、環境に対する意識を高める関心をもってもらうという部分がもう少し見えてきてもいいのではないかと思う。先ほどから主体的なという部分が出てきているので、関心をもつことから身近なところで課題を見つけたりして、自分で解決していこうというそのへんは今後目標やねらいの中に明記されていくとよいと思う。
(古田委員)	事業報告の1ページ目で確認したい。交通教室の4年生のところ、こういう評価はみなさん好意的に出て、「役に立った。ありがとうございます」というスタンスで書くもので、特に学校のねらいに即したものになっていたかという質問で100%じゃないかと思うという意識があったが、見ると1校だけ学校のねらいに即したものになっていなかったと回答されている。これは具体的に何かあったのか。
(事務局)	事務局の成田と申します。1校につきましては、こちらの評価が3段階で学校の方に回答していただいている、その1校は「やや即していた」という回答になっている。具体的に何か不満のようなことが事後調査に書かれていたわけではなかったが、児童の感想などでしっかりと全員が認識をもてたと先生方に伝わらなかったのかなと考えている。
(古田委員)	クレームや苦情などがあればそれはぜひ改善していただければと思ったが、そ

	ういうことではなかったですね。わかりました。ありがとうございました。
	<p>・②令和5年度事業運営（案）について承認 拍手多数により承認</p> <p>(2) プラネタリウム視聴（午後3時30分～）</p> <p>(3) その他（意見交換）</p>
(西藺会長)	プラネタリウムの視聴があったが感想などいただきたい。宇宙少年団の小暮委員いかがか。
(小暮委員)	こんなに素晴らしい施設があるのであれば、ねらいにあるように天文に対する知識や興味を高めていただいて、未来を作っていくってほしいと思う。
(西藺会長)	新井先生いかがですか。初めてとおっしゃっていましたが。
(荒井委員)	自分が見たのは、昔の3階か4階にあった頃、子供と一緒に見た。非常にきれいなのでびっくりした。今度は大人になったが娘を連れて来たい。
(西藺会長)	先ほどもあったが、赤城に行くとき生の星空が見えるが、街中でこれだけ見えるので、子供たちにとっても大人にとっても知っておくといい。それを実感することができたので、1回目の会議の時に言ったが、このプラネタリウムを継続していけるようご尽力いただきたい。よろしくお願いします。
	みなさん、年に2回しか集まらないので、それぞれのお立場からいろいろなご意見をいただければと思う。
	もちろん、今のプラネタリウムについてでもよいし、現在関わってらっしゃること、行事について、全く別のことでも。時間も限られているので順番に回してよいか。
(天宮委員)	共愛短大の天宮です。よろしくお願いします。今日の報告を聞いて、とにかくコロナ禍が少し明るく見えてきて、見えてきた途端こんなに色々な事業を進められていて感動した。私も子供がいるが、2年間できないときもあったが、常に子供たちのことを考え動き出してありがたいと思う。共愛短大は、今度の4月入学生から大学は前期後期制だが、クォーター制といって4期制になる。4期制は初の試みだが、1～3期で学びをしっかりとって、4期（12～1月）は地域に出てチャレンジをしようという「チャレンジ週間」という2か月間になる。その際にぜひこういう児童文化センターで学生に学ばせていただきたい。短大生はこの施設から足が遠のいているが、交通教室や自然体験活動、教室などで必ず一度は来ているので、いろいろな意味でずっと連携し関わっていけるとありがたい。
(田口委員)	プラネタリウムありがとうございました。眼鏡を持ってきたのでよく見えた。高山村よりプラネタリウムのほうが星は多い。プラネタリウム事業について、いろいろな学校が来て同じようなプログラムでやっていると思うが、私どもも星空観察と呼ばれているいろいろな学校に行ったりする。前橋の学校は、うちの職員がここの出身ということもあり、「プラネタリウム見てきましたよね」「どんなことをやってきましたか？」と聞き、角度を測る活動をするみなさんできる。そういう意味でもここにきて学習している意味があると感じる。番組の方でぐんま天文台がなかったのはなぜか。ぐんま天文台も口頭で紹介していただければ。
	疑問に思ったのは、デジタル式と光学式で星がずれているのが気になったが、改善されるのか。星座線や星座絵を出すと、プロジェクタの明るさで星が見えにくくなるが、これもプロジェクタ更新で改善されるのか。

(事務局)	ご質問ありがとうございます。成田です。プロジェクタが今度新しくなるとコントラストがさらに強調される。暗い部分はもっと暗くなるので星はかなりきれいになると聞いている。また線や星の位置がずれてしまうことについては、どうしてもドームが球体でプロジェクタの位置が中央ではなく若干ずれているため、半年に一度専門業者に来ていただき微調整をしている。それでも少しずれが生じるということがある。
(西藺会長)	望遠鏡の紹介もなかったですね。大きい望遠鏡ありますね。
(田口委員)	150センチの望遠鏡がある。もう一つは65センチ。今は改修で150センチが止まっている。日本一の望遠鏡は3.8m京大が作ったものがあるが、研究用で見られない。
(西藺会長)	ここでプラネタリウムを見た子供たちが、生の星を望遠鏡で見るというこというまくつなげられるといいですね。私もその65センチの望遠鏡で木星の衛星を見せていただいて、とてもきれいだった。
(小暮委員)	それでは小暮委員さん 先ほどのプラネタリウム、解説が素晴らしかったと思う。(拍手) 宇宙少年団の活動をさせていただいて、児童文化センターでも宇宙ワークショップを担当している。 学びと遊びというキーワードがあるが、定義づけに興味がある。企業の教育活動、人材育成などの仕事をしている。最近感じるのは、大企業でもそうだが、マニュアルは非常に優秀だと思う。みんな70~80点くらいのものでつくれる。その側面として、デメリットというのが、マニュアルをしっかりと学びすぎるとノウハウが育たないというのを感じる。必要最低限の知識は必要だが、これからの時代は自分で考えて、国の政策NISAなども面倒は見られないから自分で考えて資金を貯めてくださいというもの。生きていくうえで子供たちがこれから必要なのは、自分で考えてどうやったら人に役立つ商売をしながらお金を稼げるかということ。例えば、学びと遊び「学び」がマニュアルであれば、「遊び」は自分で考えて作りこむノウハウそれを追求して生きていければ一番幸せなのかなと思う。自分が商売をしているからこそ強く思うのだが、学びと遊びの定義づけ、困ったときにしか人は動かないので、困ったときに自分で考えて力を養っていただきたいと思う。
(西藺会長)	ありがとうございます。学びと遊びはここではずっと前から言っているのですが、本質は同じだと思うのですが、館長からご説明を。
(金井館長)	お世話になります。学びと遊びというときに、一般的には「学び」は学校で「遊び」は児童公園というイメージがあるのかもしれないが、ここでいう「遊び」というのはそういう意味ではなくて、体験を通して子供たちが学んでいけるようなもの。そういう場として考え様々な体験を提供しようと考えている。
(西藺会長)	ここではマニュアルは一切関係なく、学びも遊びも自分の力で考えるということですね。
(小暮委員)	そうですね。いろいろな考え方があり。私は「仕事と遊びって一体なんなんだろう」という話をする。人に会って話して作業して、責任感を伴うのが仕事、伴わないのが遊び。やっていることは変わらない。そうであれば、興味のあることを追求するっていうのが、最終的に自分の幸せにつながればいいのかなと思う。そういう視点もあっていいのかなと思う。
(西藺会長)	岡田委員さんお願いします。
(岡田委員)	ボランティアの会の岡田と申します。よろしくお願いします。先週土曜日に冒

	<p>険遊びゾーン、コロナ禍でなかなか活動ができなかったが、始まった。これからはもっとどんどんやっていきたいと思う。遊具の方は多分児童文化センターの管理ではなくて、公園の管理だと思う。去年太田こどもの国でふわふわドームの事故が起きた。そうしたらすぐに取りやめて使えなくなった。子供たちが冒険することと危険は常に両隣だと思う。遊具の管理をきちんとして、親に理解してもらって、子供自身が自分がどこまでできるかやってみる。これまでは冒険の木で縄梯子やターザンロープなどをやっていたが、はじめはこわごわして「できない、できない。」と言っていた子が、達成すると達成感がちがう。「おばさん見てるから行ってごらん!」「あ〜だめだったね〜。今度次にもう一度しようね。」励ましの声をかけると、とても喜んでくれる。私たちも達成感があるし、子供たちも達成感がある。ボランティア側も子供側もすごく満足感がある。ぜひ遊具の管理をきちんとしていただいで遊びを支えていきたい。</p>
<p>(西藺会長) (春山委員)</p>	<p>ありがとうございました。春山先生。 桂萱中学校の春山と申します。本日はプラネタリウムを見させていただきありがとうございました。プラネタリウムコンサートで演奏したことはあるが、観客としてプラネタリウムを見たのはいつ以来だったかと思って、すごく感激している。今日の夜になったら、オリオン座の三ツ星も、その先にあるおうし座も見つけてみたいと思った。</p>
	<p>自分はジュニアオーケストラの講師をさせていただいている。お手元のチラシにもあるように、2月11日に合唱団の定期演奏会、12日にジュニアオーケストラの定期演奏会がある。3年ぶりの演奏会ということで、自分もわくわくしている。子供たちも、3年ぶりの開催ということで元気に演奏して、最後の練習も仕上げの段階に入っているところ。音楽ってというのは、やっぱり自分たちだけで楽しむのではなくて、たくさん的人数で楽しむものだと思うし、そしてそこにお客さんも入ってお客さんと一緒に共有できるっていうのが素晴らしいところなのかなと思う。中学校の部活などを別にすれば、みんなが集まって音楽が出来るのは、私はこの合唱団やジュニアオーケストラくらいしかないと考えている。またこれからもぜひ大きく発展して行ってほしい。そして、中学校では部活の地域移行といわれているが、例えば中学校の部活動とこちらのオーケストラが一緒になって、演奏できる場があったりすると違った形になるかと思う。ぜひ今後ともよろしくお願いします。</p>
<p>(西藺会長) (三好委員)</p>	<p>ありがとうございました。三好委員さん。 私は1月24日年長の子供たちと一緒に、こちらの児童文化センターの天文教室と交通教室に参加しました。どちらも子供の発達の実態に合っていて素晴らしいと思いました。天文教室では「うぬぼれオリオン」というお話ありますか？その番組だったと思う。方角の説明や星座の説明も年長児に合っていた。解説をされた先生の言葉一つ一つもすごくよく吟味されていて、子供たちにわかりやすく一緒に行っていた補助の先生たちも「子供たちが集中していましたね〜」と話していた。交通教室の方も指導員の先生方がとっても丁寧に、「小学校に行ったら自分で歩いていくんだよね」ということで歩き方をよい緊張感の中で指導してくださり、子供たちはよい経験ができた。ありがとうございました。</p>
<p>(古田委員)</p>	<p>PTAという立場から一言言わせていただくと、学校に交通教室とかやっていただくのは非常にありがたい。これからも続けていただきたい。なかなか学校だとかこういったことはできない、親も教えるが限界があるので、こういった場でやっていただく、学校にいつかやっていただくのはありがたい。</p>

<p>(渡邊委員)</p> <p>(手島委員)</p> <p>(荒井副会長)</p> <p>(西藺会長)</p>	<p>親として一言。先ほど遊具の話で、太田の方ですぐに使用禁止になった話があったと思うが、すぐに使用禁止にする役場側の立場、管理側の立場もわからなくもないが、正直、最近過敏になりすぎているのではと個人的には思っている。確かに、どう見ても危険な遊具とかあり、それはどうかなと思うが、ふわふわドームはそれほど危険な遊具ではないと思う。確かにいろいろな意見、クレームや苦情がくるのかもしれないが、子供たちを育てるという意味を兼ねてどうやったら安全に遊べるかという方向で対応していただきたい。</p> <p>個人的に、tsukurun といっしょにやっていたりとか、先ほどもぐんま天文台も合わせて紹介などという話があったりしたが、富岡の自然史博物館とか他の公共の施設と一緒にできることは一緒にやっていくのがよいと思う。</p> <p>お世話になります。前橋子供会育成会連絡協議会会長の渡辺と申します。久しぶりにプラネタリウム見させていただき、大人なりに感動した。ありがとうございました。ぐんま天文台に行かせていただいたのは、開設する前引越して行かせていただきました。あそこの扉は多分チタンですよ。</p> <p>市子連の方として宣伝させていただきたい。1月29日県の体験に向けての前橋の上毛かるた大会を行い、選手は今、12日の県大会に向けて練習を重ねている。2年コロナでできなかった。今年はリーグ戦でやることになっている。お時間のある方は武道館へ応援に来てほしい。</p> <p>荒子小の手島です。4,6年生が交通天文教室、5年生が環境教室で、本当に大満足で帰ってきた。さらに5年生は林間学校で森のパワーを使わせていただいて、補助金もいただきまして、学校関係の教室で、児童文化センター今年度はとても充実していたと思う。コロナの方も5月からは5類にとなっていて、さらに今後様々な事業が充実していく予感がしている。職員の方が、今働き方改革であり健康に気を付けていただければと思う。</p> <p>私は、去年まで大人の中でしか仕事をしていなかった。大人と言っても40代以上の人だが、今年学校へ出て、20代30代の若い教員や中学生といろいろ関わっていく中で、若い人たちのアイディアに全く歯が立たないことがわかった。いろいろな企画やイベントがあると思うが、ぜひ企画の段階から小学生、中学生、高校生、大学生を1回でも2回でもいいから入れていただくと、また違うことができると思う。</p> <p>本当にいろいろな年代がここをキーステーションにできるということが、この施設の魅力。みなさんからいろいろなご意見をいただいた。では、事務局の方では来年度に向けて今いただいたご意見を参考にして、よりよい運営をしていただきたい。</p>
<p>6. 閉会</p>	